

栗が美味しい季節になりました。まだまだ暑くて秋という感じがしませんが、秋は「狩り」の季節です。狩りと言えば「<sup>ぶどう</sup>葡萄狩り」「<sup>なし</sup>梨狩り」「<sup>たけのこ</sup>筍狩り」「<sup>きのこ</sup>茸狩り」「刀狩り」「魔女狩り」「<sup>たか</sup>鷹狩り」…といろいろあります。「紅葉狩り」は狩猟に行かない貴族が紅葉をめぐることをシャレて言ったともいわれています。さて、今月は「狩り」をテーマに本を展示しました。裏面にもあります。秋の読書に迷ったら、ぜひ参考にしてみてください。

## 秋の読書週間 (10月27日～11月9日)

### 本郷台中学校図書館 図書館探偵始まる

10月から11月に図書館クイズに答えるとブックカバーをもらえるイベントを開催します。PCで調べたりせずに図書館の本を読んで教えてください。

**探しています** 8月に、図書館の本を全てPCに読み込む作業「蔵書点検」を行いました。今年度の**不明本**は現時点で38冊(42,577円)です。ほとんどが学級文庫の**紛失**です。もし、持ち帰っている本がある場合は、入口に返却ボックスを設けておきましたので出来るだけ早めに図書館に持ってきてください。以下の表紙は一部の**不明本**で

不明本



✽10月の在館日✽

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

黄色は司書がいます

## 図書館利用案内

利用日時 平日 12:00～17:00

貸出冊数 1人3冊

貸出期間 2週間

※開館予定は変更することがあります。

※水曜は、図書委員さんがいる昼休みのみの開館です。

※学級文庫は貸出していません。

※夏休みに貸し出した本は返却日を過ぎています。速やかに返却しましょう。

## 9月の来館者数・貸出 (延べ)

(統計日数 13日)

来館者数 232名 貸出数 99冊

## ブックシェアリング

冊の本を寄贈ありがとうございました。企画してくれた図書委員の皆さんもありがとうございました。寄贈された本は図書館や学級文庫に活用させていただきます。

# 狩りの本



『名前がわかる! フルーツ&ベジタブル図鑑 Fruits & Vegetables 1880 品種』主婦の友社 2018 主婦の友社 625

**ブドウ狩り**に**梨狩り**、秋の味覚を栄養成分まで調べられる本です。新品種のフルーツから、世界の野菜、日本の伝統野菜まで、1880 品種を写真で紹介。秋の味覚のジュースづくりに。



『歴史ビジュアル実物大図鑑』こどもくらぶ 2010 ポプラ社 210

ちょっと強引ですが**刀狩り**で有名な秀吉。彼の太閤検地で使用した尺の実物大写真があります。高松塚古墳壁画、源氏物語絵巻、関ヶ原合戦図など、教科書に登場する代表的な歴史史料を時代別に取り上げ、実物大の写真で紹介されています。



『美しき捕食者(プレデター)サメ図鑑』田中 彰 2016 実業之日本社 487

**海の狩人・サメ**の知性と神秘に触れられる本です。世界中の美しいサメをダイナミックなカラー写真で紹介し、「進化」「身体構造」「生殖」「サメ社会」などのテーマに沿ってその生態を詳細に分析しています。



『鷹のように帆をあげて』まはら三桃 2012 さくら舎 913

**鷹狩り**と云えば鷹匠。九州を舞台に鷹匠を目指す少女のお話。親友を交通事故で亡くした中学 1 年の理央は、ペットショップで出会ったちいさな鷹を育てはじめます。餌は冷凍のひよこ。生き物を育てる大変さから前向きに生きることを学べるとも素敵な物語です。



『ヴァチカン図書館の裏蔵書 1』篠原 美季 2017 新潮社 913

教授の依頼でヴァチカン秘密記録保管所を訪れ、幻の資料を探す聖人。その頃、ドイツとオーストリアで**魔女狩り**を思わせる殺人が起こります。図書館の膨大な蔵書に事件の謎を解く鍵があるとみた聖人と神父のマリクは…。



『文豪妖怪名作選』東 雅夫 2017 東京創元社 918

**紅葉狩り**と云えば名前に紅葉がついているこの人、**尾崎紅葉**。文豪たちの綴る様々な妖怪物語を集めたアンソロジーには、尾崎紅葉の「鬼桃太郎」、泉鏡花「天守物語」、宮澤賢治「ざしき童子のはなし」、芥川龍之介「貉」、室生犀星「天狗」が収録されています。

## 今月のおすすめ本



『そして、バトンは渡された』瀬尾 まいこ 2018 文藝春秋 913

親の事情から 4 回も名字が変わった森宮優子。父親が 3 人、母親が 2 人。でもどの父親も母親も彼女を心から愛して立派な親になろうと精いっぱいだった。たくさんの人から愛された優子の幼少期から結婚までの成長の物語。2019 本屋大賞受賞作品。